

第7回

# 江戸前勉強会2022

特別編



特別企画「東京湾にでかけよう！」

2022年3月25日 19:00 - 20:30



Youtube  
東京湾再生  
ハゼ博士



Webサイト  
coastcard.jp

共催:

東京湾再生官民連携フォーラム 東京湾の窓PT  
東京湾再生官民連携フォーラム モニタリングPT(窓PT、江戸前PT、生き物PT他)  
東京湾の環境をよくするために行動する会、  
東京海洋大学江戸前ESD協議会、  
東邦大学東京湾生態系研究センター、  
ベルmontフォーラムCOAST Cardプロジェクト

協力:

東京湾再生推進会議モニタリング分科会、東京湾研究会

プログラム

- ・ はじめに:第1回~第6回までのふりかえり
- ・ 窓PTの施設・活動の紹介  
(窓施設のみなさま)
- ・ ワークショップ  
「アクセスの向上に向けて」  
(参加者のみなさまにアンケート)  
(3回の研修から見えてきたこと)  
(いろいろ話してみよう)
- ・ おわりに:

江戸前勉強会2021 第6回のふりかえり

## 東京湾の再生のためのつながりの発見!

めざすべき東京湾の姿を描こう

江戸前

ヘドロのない海の実現

排水システムの再考(分流化・  
パイプライン)

海辺へのアクセス

身近な潮干狩り場、砂浜の創出⇄  
エコリゾート

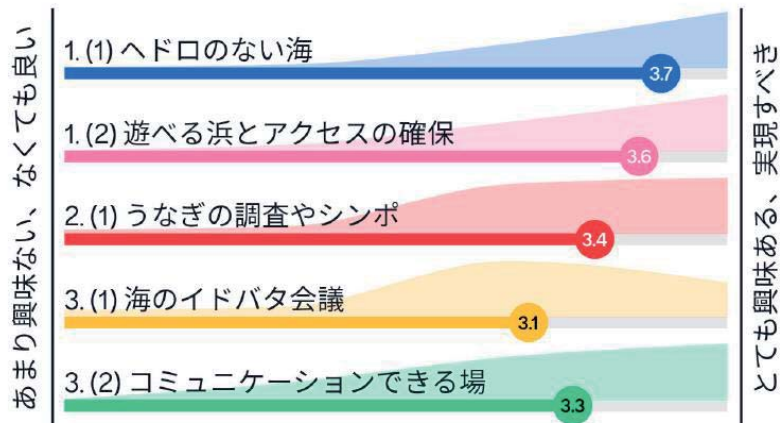
生物データの一元化・体系化

市民参加で知識の共有  
生き物一斉調査・シンポの実施  
うなぎ調査

## 新しい課題に対する対話の場 海の井戸端会議

漁業者と市民の対話  
新たな課題(貧栄養・高水温・マイクロ  
プラスチック・生物の変化)

### 第1回~第6回までのふりかえりに実施したアンケート(興味のある提案内容について)



### 窓PTの施設・活動の紹介(窓施設のみなさま)

窓PTについて

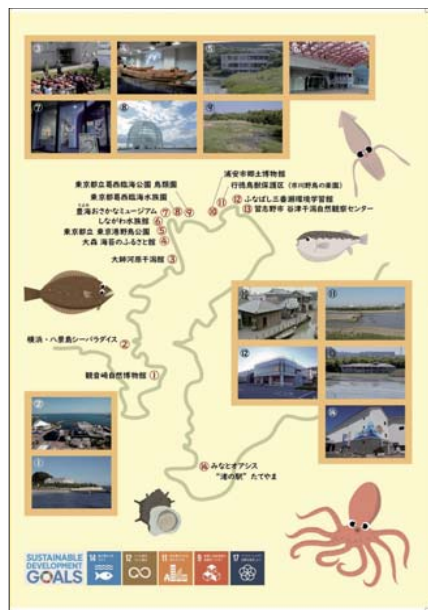
- 市民が東京湾に触れる入り口となる窓、年間総利用者数は100万人に達する。イベント参加、自然体験、守る活動を推進。東京湾の窓スタンプラリーを2019年まで実施、その後は、ぐるっと東京湾!のFacebookで発信。

- 谷津干潟自然観察センター  
➢ 都会に残された自然、窓PT結成のきっかけになった施設、充実したスタッフ  
水元かわせみの里
- 重要湿地「水元小合溜」の豊かな自然、流域からの発信を重視
- ふなばし三番瀬環境学習館  
➢ ふなばし海浜公園に併設された、新しい施設、体系的な学び、現地との回遊を重視
- 浦安市三番瀬環境観察館・浦安水辺の会  
➢ 郷土博物館、観察館、水槽を活用した学び、体験、市民とのコミュニケーション、海に出るための課題があるが、昆虫などの取組みで工夫
- 行徳鳥獣保護区  
➢ 宮内庁新浜鴨場に隣接、街中の排水を利用した湿地造成・管理、野帳病院・野鳥観察舎を併設
- 豊海おさかなミュージアム  
➢ 豊海ふ頭に立地している水産振興に特化した博物館、特別展示、食育や江戸前ハゼ復活プロジェクトを推進
- 東京港野鳥公園  
➢ 大田区市場の建設予定地に市民要望により造成、レンジャーが環境教育、保全管理、生物調査を実施
- 大森 海苔のふるさと館  
➢ 海苔養殖の歴史を伝える施設、海苔船や昔の漁具などを展示、人工海浜での体験学習会、海苔づくりなどを実施



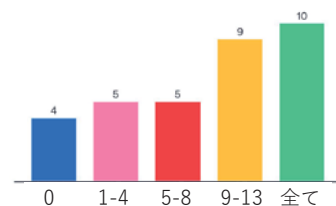
# 東京湾ぐるっと スタンプラリー協力施設 + α

- ①みなとオアシス“渚の駅”たてやま
- ②谷津干潟自然観察センター
- ③ふなばし三番瀬環境学習館
- ④行徳鳥獣保護区
- ⑤浦安市郷土博物館
- ⑥葛西臨海公園鳥類園
- ⑦東京都葛西臨海水族園
- ⑧豊海おさかなミュージアム
- ⑨しながわ水族館
- ⑩東京港野鳥公園
- ⑪大森 海苔のふるさと館
- ⑫大師河原干潟館
- ⑬八景島シーパラダイス
- ⑭観音崎自然博物館
- ⑮水元かわせみの里
- ⑯浦安市三番瀬環境観察館

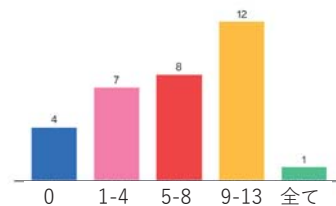


## 窓施設・活動の紹介後に実施したアンケート

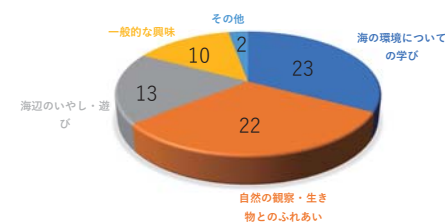
1. 東京湾の窓関連施設16の内、いくつご存じでしたか？



2. その内、いくつ行ったことがありますか？



3. 行こうと思ったきっかけは？



N=32-33

## 3回のワークショップ「アクセスの向上に向けて」

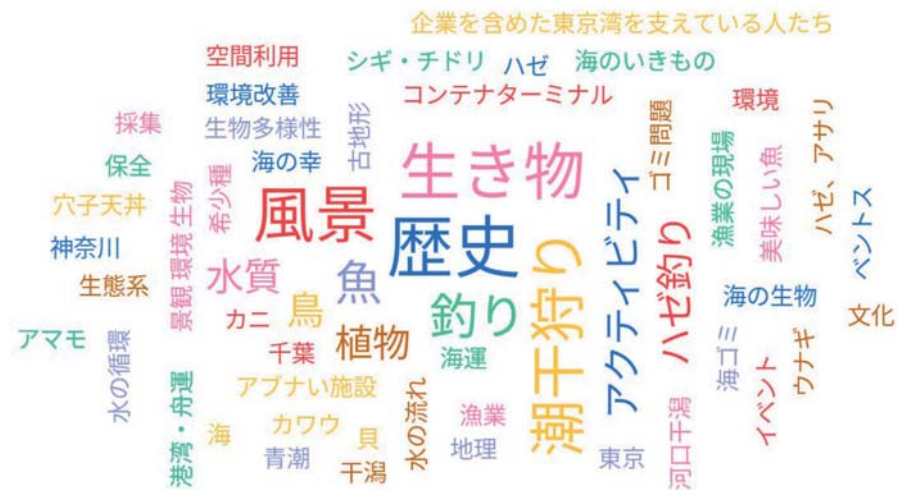
ワークショップの趣旨

- COVID-19のまん延に対応した環境教育プログラムの実施の状況を共有し、オンラインの活用なども含め、優れた取り組みを相互に学びあい、各施設での実践を目指す。

- 水元かわせみの里
  - オンラインで実施、運営体制やコロナ禍での取り組みを共有、毎日の動画配信
- ふなばし三番瀬環境学習館
  - 実地+オンラインで実施、現地と学習館の
- 行徳鳥獣保護区
  - 管理作業を実地で見学し、事後に動画で情報共有

実施場所	WS形態	趣旨	成果	反省・気づき
水元かわせみの里	オンライン	活動紹介 対応状況	展示の消毒対応 シンボルとしてのカワセミ 小人数での幅広い運営	時間設定（夜間が参加しやすい、時間が超過しやすい） オンラインでは質疑の充実
ふなばし三番瀬環境学習館	実地+リアルタイムオンライン	オンラインWS フィールド活動をハイブリッドで配信	ノウハウ・考え方の共有 オンライン（ハイブリッド）での情報発信方法	楽しめる展示への工夫 現地へのアクセスの良さ 詰め込みすぎ 反省の時間が必要
行徳鳥獣保護区	実地+事後の動画共有	管理作業などについて施設間の比較 事後の情報共有	保護区の維持活動の実態を共有 説明が付与された動画は情報共有ツールとして有効	現場での体験は重要 保護区と観察舎の展示内容、運営面での乖離

## 東京湾で興味のあること



N=29

・窓施設に期待すること

参加のしやすさ	参加者の年齢設定	体験のレベル・スキルによる差別化
歴史・文化資源へのアクセス	安全確保	オンライン学習会や観察会実施のための工夫（設備、企画、運営など）
東京湾のデジタルツイン	観察会をたくさん開催してほしい	充実したウェブサイト
海辺の中のことを知りたいです。	イベントの充実	学校との連携
一般の人が簡単に東京湾の自然に触れ合える場所	環境教育	いろいろな生き物を見たい
干潟の生き物の状況を確認したい。多くの関係者の意見を聞きたい。子供たちに伝えたい。	大型プロジェクト	東京湾で行なわれているイベント（研究、遊び、スポーツ、ビーチクリーンなど）がいっぺんにわかる場所（HP、掲示板など）

連携事業の促進	多くの情報が得られると良い	それぞれ地域性のある研究内容や展示内容を知りたい。
モニタリングポストとして共通のデータを蓄積していただくことや、湾岸の他の施設や活動の紹介もあるといいと思います。	海の水質のバランスを保てると思います。	活動を多くの方々に伝えることを期待いたします。
学習施設以外にもタワーや海浜公園や漁港、島など登録施設が増えて、東京湾全体の繋がりを強める役目してほしい	スタンプラリーの期間を年単位にしてほしい	スタンプラリーの復活楽しみにしています
東京湾での活動をやっている場所・団体などを知りたい	互いの施設の連携が、来館者にわかるような展示や解説があったら良いなと思いました。	歴史については、開発の歴史と将来への展望あるいは危惧も含めて来館者に伝えたい？
東京湾の生き物以外にも海運の歴史施設なども登録施設してほしい	これらを利用することが、マニアでなくてごく普通になること。	

N=32

当日参加者（3/25：36名参加）



事前打合せ（2/26：13名参加）

